

特別入学者選抜のための学力検査の概要
各教科の出題のねらい、結果の概要、応答率

1 国語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 漢字を読むことや書くこと、文法や語彙、敬語、故事成語、文節の関係、話し合いにおける発言の特徴等、国語の基礎的な知識や事項について理解の程度をみる。
- 2 古典を扱った説明的な文章によって、歴史的仮名遣いや季語等、古典における基礎的事項について理解の程度をみる。また、文章から読み取った情報を適切に整理し、文章の展開に即して主題を理解する力をみる。
- 3 文学的な文章によって、文脈における語句の意味や、表現上の特徴とその効果について理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを端的に表現したりする力をみる。
- 4 説明的な文章によって、文脈の中における語句の意味や、文章の全体と部分との関係、例示の効果について理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを端的に表現したり、筆者の考えを正確に読み取ったりする力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

文章の内容を整理して必要な情報を文章中から抜き出して解答する設問や、文章に書かれている内容として適当なものを選択肢から選んで解答する設問では、正答率が高かった。また、文章中における表現の効果を問うた設問もよく理解できていた。

一方で、文章中で使われた単語の品詞や故事成語に関する知識を問うた設問では、正答率が伸びなかった。知識事項として理解するだけではなく、知識を活用しながら文章のなかでことばの意味や使い方を比較する等、一つ一つのことばに対して意識を高める必要がある。また、文章中において具体例が果たす役割について問うた設問においても、正答率は55%にとどまった。説明的文章において、具体例が文章全体のなかでどのような効果をもたらしているかを注意しながら読み、文章の内容や筆者が伝えようとしていることを的確に把握する等、全体と部分との関係に注意を払うことが求められる。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)							
				選択	短答	記述	正答としたもの		部分点を与えたもの		誤答としたもの		無答	
1	(1)①	いせき	1		○		97.0		0.0		3.0		0.0	
	(1)②	あかつき	1		○		86.0		0.0		13.0		1.0	
	(1)③	保管	2		○		76.5		12.5		8.0		3.0	
	(1)④	舌	1		○		70.0		0.0		21.0		9.0	
	(2)	イ	1	○			47.0		0.0		53.0		0.0	
	(3)	エ	1	○			99.5		0.0		0.5		0.0	
	(4)	おっしゃる	2		○		89.0		0.0		11.0		0.0	
	(5)①	エ	2	○			68.5		0.0		31.5		0.0	
	(5)②	ア	2	○			65.5		0.0		34.5		0.0	
	(5)③	ア	2	○			64.5		0.0		35.5		0.0	
	(5)④	ウ	3	○			88.5		0.0		11.5		0.0	
2	(1)	秋	2		○		80.0		0.0		20.0		0.0	
	(2)	おもい	1		○		98.0		0.0		2.0		0.0	
	(3)①	伝統的な素材	3		○		81.5		2.0		12.0		4.5	
	(3)②	イ	3	○			36.5		0.0		63.5		0.0	
	(4)	ウ	4	○			76.0		0.0		24.0		0.0	
3	(1)X	たくさん色彩	2		○		35.0		1.0		52.5		11.5	
	(1)Y	うそっぽい	2		○		81.0		0.0		11.5		7.5	
	(2)	エ	3	○			72.0		0.0		28.0		0.0	
	(3)	ア	3	○			83.5		0.0		16.5		0.0	
	(4)	感情を爆発させる鈴音の姿をそのまま描こう	5			○	4.0		40.5		43.0		12.5	
	(5)A	イ	3	○			71.0		0.0		29.0		0.0	
	(5)B	オ	3	○			76.0		0.0		24.0		0.0	
	(6)	イ	3	○			80.5		0.0		19.5		0.0	
4	(1)	イ	3	○			82.5		0.0		17.5		0.0	
	(2)	ア	2	○			98.0		0.0		2.0		0.0	
	(3)	すでに実践されたことのある	3			○	18.0		4.0		55.5		22.5	
	(4)	ウ	3	○			55.0		0.0		44.5		0.5	
	(5)	常識にとらわれなくて挑戦する	4			○	13.0		31.5		40.5		15.0	

2 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 「数と式」の領域において、基礎的・基本的な技能の習得の程度等をみる。
- 2 各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度と、それらを具体的な場面で活用する力等をみる。
- 3 一次関数についての理解の程度と、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する力等をみる。
- 4 ヒストグラムや度数分布表についての理解の程度と、データの分布の傾向を読み取り、判断する力等をみる。
- 5 数の性質について考察し、文字を用いた式で数量の関係を捉え説明する力等をみる。
- 6 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめる力、相似な図形の性質や三平方の定理を具体的な場面で活用する力等をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

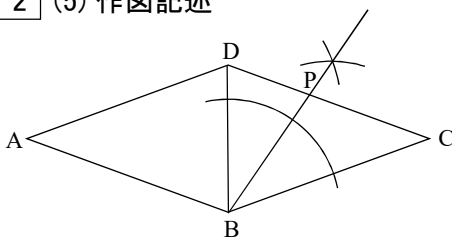
基本的な計算を中心として、展開図から平行な面を捉える設問や、ヒストグラムから階級の度数や階級の幅を読み取る設問では、正答率が全般的に高かった。

一方で、数の性質について文字を用いて説明する設問や、相似な図形の性質を具体的な場面で活用する設問では、正答率が低かった。また、基礎的・基本的事項においても、関数の値の変化を考察する設問や、文字を用いた式で数量を表す設問では、正答率が低いものがあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)								
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答					
1	(1)	11	2		○	92.5		0.0		7.0		0.5		
	(2)	$-\frac{3}{2}$	2		○	91.5		1.5		6.0		1.0		
	(3)	$4ab$	2		○	83.5		0.5		15.0		1.0		
	(4)	$2\sqrt{6}$	2		○	83.5		0.0		14.0		2.5		
	(5)	$(x+7)(x-7)$	2		○	88.0		0.5		8.0		3.5		
	(6)	$\frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$	2		○	73.0		1.0		19.5		6.5		
2	(1)	ウ	2	○		60.5		0.0		39.5		0.0		
	(2)	ウ	2	○		91.0		0.0		8.5		0.5		
	(3)	ア エ	2	○		29.5		0.0		70.5		0.0		
	(4)	$\frac{2}{9}$	3		○	64.0		2.5		29.5		4.0		
	(5)	※作図記述	3			○	42.0		2.5		39.0		16.5	
3	I(1)	2	2		○	77.0		0.5		19.5		3.0		
	I(2)	イ	2	○		76.5		0.0		23.5		0.0		
	II(1)	エ	2	○		77.5		0.0		22.0		0.5		
	II(2)	$(-1, 3)$	2		○	64.5		0.0		28.5		7.0		
	II(3)①	ウ	2	○		89.5		0.0		10.0		0.5		
	II(3)②	$\frac{9}{4}\pi$	3		○	20.5		0.5		58.5		20.5		
4	(1)あ	5	2		○	85.0		0.0		14.0		1.0		
	(1)い	3	2		○	84.0		0.0		15.0		1.0		
	(2)①	エ	3	○		42.5		0.0		57.5		0.0		
	(2)②	※説明記述	3			○	32.5		13.0		25.5		29.0	
5	(1)	ア	3	○		58.0		0.0		42.0		0.0		
	(2)	※説明記述	3			○	12.0		28.0		27.5		32.5	
	(3)	イ	3	○		30.0		0.0		68.0		2.0		
6	(1)あ	イ	2	○		84.5		0.0		15.0		0.5		
	(1)い	カ	2	○		58.0		0.0		41.0		1.0		
	(2)①	45	2		○	76.0		3.0		14.0		7.0		
	(2)②	$2\sqrt{10}$	2		○	50.0		0.5		43.0		6.5		
	(2)③	$2\sqrt{5}$	3		○	10.5		0.0		69.5		20.0		
	(2)④	32 : 3	3		○	0.5		0.0		68.5		31.0		

2 (5) 作図記述



4 (2)② 説明記述

記録が31秒以上34秒未満の階級の累積相対度数をそれぞれ求めると、

A地区は $\frac{6}{20}=0.30$ B地区は $\frac{15}{60}=0.25$

となり、A地区の値の方が大きいから。

5 (2) 説明記述

$$(2m+1)+(2n+1)=2m+2n+2 \\ =2(m+n+1)$$

$m+n+1$ は整数だから、
 $2(m+n+1)$ は偶数である。

3 英語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 話される英語の内容を正しく聞き取る力や適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- ② 英語を用いて活動している場面を素材として、基礎的・基本的な単語や文法事項等の理解の程度をみるとともに、実際のコミュニケーションにおいてそれらを適切に活用する力や与えられた情報に基づいて適切に英語で表現する力をみる。
- ③ 英語による発表およびグラフ資料を用いた話し合いから、英語の内容を正確に理解したうえで、文章の概要や要点を捉える力をみる。
- ④ 英語による会話と会話の内容に関する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や英文と資料を関連させて情報を選択する力をみる。
- ⑤ まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力や段落の概要・要点、文章の論理展開を把握する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

英語を聞いて説明されている内容として正しいものを選ぶ設問や、必要な情報を聞き取る設問では正答率が高かった。一方、まとまりのある英語を聞いて、聞き取った内容を踏まえて英語で表現する設問では正答率が低かった。

基礎的・基本的な単語の理解の程度をみる設問の正答率は高かったが、それらを活用して英語で表現する設問では正答率は低かった。また、内容を正確に読み取り、適切な情報を判断する設問や英単語で表現する設問の中にも正答率が低いものがあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)						
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答			
1	A(1)	エ	2	○		87.5		0.0		12.5		0.0	
	A(2)	ア	2	○		85.5		0.0		14.5		0.0	
	A(3)	ウ	2	○		58.0		0.0		42.0		0.0	
	B(1)	エ	2	○		75.0		0.0		25.0		0.0	
	B(2)	ウ	2	○		64.0		0.0		36.0		0.0	
	C(1)	エ	2	○		59.5		0.0		40.5		0.0	
	C(2)	イ	2	○		58.0		0.0		42.0		0.0	
	C(3)	wash my face	3		○	25.5		19.5		26.5		28.5	
2	(1)(あ)	エ	2	○		79.0		0.0		20.5		0.5	
	(1)(い)	ア	2	○		70.0		0.0		29.5		0.5	
	(2)(う)	animal	2		○	85.0		1.5		10.5		3.0	
	(2)(え)	dream	2		○	68.5		0.0		22.0		9.5	
	(3)①	to make	2		○	45.0		0.5		48.5		6.0	
	(3)②	was built	2		○	33.5		0.5		60.5		5.5	
	(4)(お)	who	2		○	72.5		2.5		20.5		4.5	
	(4)(か)	fan	2		○	19.0		0.0		64.5		16.5	
	(5)	for inviting me to	2		○	4.5		0.0		93.5		2.0	
	(6)	talked with her in English	3		○	15.0		19.5		56.0		9.5	
3	A(1)	ウ	2	○		90.5		0.0		9.5		0.0	
	A(2)	エ	2	○		67.5		0.0		32.0		0.5	
	B(1)	イ	2	○		77.5		0.0		22.5		0.0	
	B(2)	clean	3		○	24.0		0.0		63.0		13.0	
	B(3)	ア	2	○		59.5		0.0		40.0		0.5	
4	(1)	ウ	2	○		71.0		0.0		29.0		0.0	
	(2)	October	2		○	41.0		1.0		55.0		3.0	
	(3)	エ	2	○		48.0		0.0		51.5		0.5	
	(4)	イ	2	○		39.5		0.0		60.0		0.5	
5	(1)	ウ	2	○		79.5		0.0		20.5		0.0	
	(2)	容易に演奏する	2		○	43.5		26.0		28.0		2.5	
	(3)	エ	2	○		68.5		0.0		31.0		0.5	
	(4)	ア	2	○		49.0		0.0		50.5		0.5	
	(5)	イ	2	○		45.5		0.0		54.0		0.5	
	(6)	ア オ	3	○		12.5		0.0		85.0		2.5	